

## 職員表彰

平成30年6月1日に職員表彰式が行われました。

### 優秀職員表彰

最優秀賞 細菌課（食品細菌・腸管系病原細菌グループ）

河合高生、神吉政史、坂田淳子、若林友騎

4つの食中毒病因物質（ナナホシドア、腸炎ビブリオ、リステリア・モノサイトゲネス、ブドウ球菌）について、新規の検査法開発や病原性解明につながる成果を上げた。

優秀賞 食品化学2課

岸映里

従来、食品衛生法において方法が定められていなかった乳幼児用粘土から溶出する着色料について、標準法となりうる機器分析法を確立した。  
（日本食品衛生学会第57巻論文賞）

優秀賞 医薬品課

危険ドラッググループ

新規乱用薬物の活性評価・分析法開発について報告し、当該物質の規制・取締りに有用な科学的データ・手法を提供した。

### 功績職員表彰

山口貴弘 細菌課

食肉の抗菌性物質および多剤耐性菌の汚染実態と薬剤耐性遺伝子の解析

福井直樹 食品化学1課

5,6-ジヒドロチミジンを検知指標としたLC-MS/MSによる新規照射食品検知法の開発に関する研究

